

し ぶ し 志布志 市議会だより

第14号

<http://www.city.shibushi.lg.jp>

志布志駅に 総合観光案内所オープン



チーム有明どっこいしょ

6 月 定 例 会	理科支援員を配置
..... 2 5
地域活性化・経済危機対策臨時交付金	第3回臨時会各委員会報告
..... 3 7
特産品販売所設置へ	13議員が一般質問
..... 4 9

第2回臨時会

第2回臨時会を、5月29日に開き、議員・市長・副市長・教育長・一般職員の6月に支給する特別給(ボーナス)の額を減額する条例など議案2件を審査しました。

これらの議案はすべて原案どおり可決、また、平成20年度の最終補正予算の専決処分など6件を承認しました。

6月定例会

平成21年6月定例会を、6月12日から30日までの19日間開き、一般会計、国民健康保険・老人保健・国民宿舍特別会計の補正予算、「定住自立圏形成協定の締結等は議会の議決を必要とする条例」など議案19件を審査しました。

これらの議案及び振り込め詐欺撲滅に関する決議など、発議3件は原案どおり可決しました。

教育予算確保に関する意見書、甘味資源作物に関する意見書を国に提出しました。

一般質問は13名の議員が農業振興、福祉、教育問題、観光行政などについてたどしました。

振り込め詐欺撲滅に関する決議

近年、振り込め詐欺(オレオレ詐欺、架空請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金等詐欺)による被害が全国的に急増し、住民生活を脅かす大きな社会問題となっている。

平成20年中の振り込め詐欺による被害総額は、全国では約276億円、鹿児島県内においては約1億4200万円に達し、志布志警察署管内においても約2500万円という住民の大切な財産が奪われている。振り込め詐欺による被害は、本年も増加傾向にあり、今後さらなる拡大が懸念される。

安全で安心して暮らせる地域社会を実現することは、住民の付託を受けた我々の重大な任務である。

人々の不安につけ込み、家族への愛情を悪用して住民の財産を奪う

振り込め詐欺は、極めて卑劣な犯罪であり、決して許すことはできない。

よって、本市議会は、住民の安全で安心な暮らしを守る立場から、警察や関係機関と連携し、住民と一体となって振り込め詐欺撲滅に対する姿勢を明確に示すとともに、すべての住民がその被害に遭わないための防止策を積極的に推進することを決意するものである。

以上、決議する。

平成21年6月30日
鹿児島県志布志市議会

平成21年度 6月 一般会計・特別会計補正予算

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	179億6,100万円	816万6千円	179億5,283万4千円
特別会計	国民健康保険特別会計	4,451万1千円	47億4,339万5千円
	老人保健特別会計	6,642万8千円	1億1,480万円
	国民宿舍特別会計	142万8千円	1億1,093万4千円

第3回臨時会

地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業を実施



尾野見サンサン広場

第3回臨時会を、7月21日から27日までの7日間開き、一般会計の補正予算を審査しました。

これは、国の一次補正予算が成立し、地球温暖化対策、少子高齢化社会への対応、安全・安心の実現などの事業を実施できるように創設された「地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業」に伴う事業を審査したものです。

主な内容は、子育て応援特別手当や市独自の支援策であるわがまち子育て応援手当、小中学校等への地デジ対応テレビや電子黒板、自動給茶器の導入、翌年度産の茶増収のための肥料代一部助成などです。

この補正予算は各常任委員会付託を経て審議され、原案どおり可決しました。

一般会計補正予算は7億7,132万8千円を増額し総額187億2,416万2千円となりました。

地域情報基盤整備等
調査特別委員会を設置

本市は電子自治体の推進と高度情報化へ対応したまちづくり及び地方都市間における情報通信格差是正を図ることを目的に、地域ICT整備事業を計画しています。

このことをふまえ、市民のだれもが情報通信技術の便利さを実感できる情報基盤の整備促進が図られるよう、市が計画している事業等についての詳細な調査を行うため、「地域情報基盤整備等調査特別委員会」を設置しました。

委員は議長を除く32名の議員で、委員長に迫田正弘議員、副委員長に藤後昇一議員が選出されました。

議員表彰

全国市議会議長会より、永年勤続議員として9名が表彰され、6月定例会時において、表彰状の伝達が行われました。表彰議員 10年以上

- 小園 義行議員
 - 上村 環議員
 - 鬼塚 弘文議員
 - 重永 重久議員
 - 丸崎 幹男議員
 - 福重 彰史議員
 - 野村 公一議員
 - 谷口 松生議員
 - 若松 15年以上
 - 若松 良雄議員
- 表彰規定により町議の年数は1/2で換算



昭和通り・アピアに特産品販売所

一般会計補正予算
(第1号)

Q 特産品販売所の具体的な内容は。

A 特産品の販売を促進するため、昭和通り商店街のルネサンス広場ならびにサンポートしづしアピアの空きテナントを活用して、販売所を設置する。内容としては、特産品の展示・販売、グルメ商品、地域素材商品の販売、またインターネットでの通信販売も計画している。業務は観光特産品協会に委託して行う。

観光特産品協会が発足

Q 観光協会はその後どうなったのか。

A 今年3月末に、観光協会と特産品協会が合併し、新たに「観光特産品協会」として発足した。今後、民間主導による総合的な観光振興等の推進役となる。



消防団員の補充は

Q 本年3月末で22人の消防団員が退職しているが、後任の補充はできたのか。

A 合併前の定数を目安にすると、松山方面隊90人に対し89人、有明方面隊147人に対し147人、志布志方面隊243人に対し225人、全体で19人不足である。市の団員定数は48

0人方面隊ごとの定数の定めはない。

市議会の議決すべき事件に関する条例
原案可決

* 定住自立圏形成協定を結ぶためには、議会の議決を必要とする旨の条例を定めるものである。都城市と鹿屋市から、本市に協定締結について、申し出があった。
協定の内容は、都城市が「広域救急医療体制の

アピア内の特産品販売所予定地

整備 都城・志布志道路の整備についてである。鹿屋市との具体的な協定内容は今後話し合われる。

定住自立圏形成協定とは、人口5万人以上の市が、中心市の宣言を行い、その周辺にある市町村が連携して、人口定住のために必要な生活機能を確保するため、協定を結ぶこと。

国民宿舎特別会計
補正予算 (第1号)

この予算はボルベリアダグリの維持管理に要する予算で、今回、142万8千円を追加し、総額を1億1093万4千円とする。

Q 今回の補正は配管の修繕ということだが、原因は何か。

A 客室、厨房、浴室に給湯する配管が銅管だったため、経年劣化により腐食し水漏れするようになった。今回内部を塩化ビニルでコーティングした

鋼管に取り替えるための修繕費である。

陳情関係

「ANZスーパーセンター大崎店」の出店に反対する要望書については採択。
「協同出資・協同経営で働く協同組合法(仮称)の速やかな制定を国に求めること」についての陳情については継続審査。
九州電力の川内原発3号機増設反対の意見書提出および意見書の採択については継続審査。



昭和通りのルネサンス広場

一般会計補正予算
(第1号)

志布志小 理科支援員を配置

Q 理科支援員の事業は、学力向上を目的として、志布志小と香月小に理科支援員1名を配置するが、志布志小と香月小は学力が落ちているということがあるか。

A 香月小と志布志小への理科支援員の配置は、純粋に理科の学力向上を目的とし、理科の成績を考えての配置ではない。この事業は国の予算を受けて、県からの事業であり、本市では生徒数や授業数が多いこの2校に配置した。

Q 文化財案内板設置委託事業で、看板の製作は地元業者でできるのではないか。

A 大慈寺の境内と開山堂内に、大型案内板2基

と小型案内板5基を設置する。昭和62年から市内の史跡の案内板は、FRPという銘板に写真焼付けする耐久性も評価も高いダイヤプレートに統一して設置している。これは

東京にある一社の特許製品なので地元業者ではできない。
Q 高等技能訓練促進費事業とは、どのような内容の制度なのか。



志布志の古刹 大慈寺

A 母子世帯の母親が、就労に有利になるように、看護師や保育士等の資格の取得を目的に、2年以上の就学をするための申請があったときに支援する制度である。月額10万3千円を支給するもので、現在の利用者は1名である。

国民健康保険特別
会計補正予算(第1号)

Q 平成20年度の国保税の徴収状況はどの程度だったか。

A 20年度分の確定した徴収率は、国保税の現年課税分が92・49%であった。92%をクリアしなければ調整交付金が減額される一般分については、92・24%でクリアした。滞納繰越分は11・28%で、国保税全体では75・69%であった。

国民健康保険税の
一部改正条例

Q 配当所得を受ける人は、どれくらいいるのか。また平成20年度の株式の申告所得はどれくらいあったか。

A 株式関係の所得は、市内では少ない。人数としては一桁台である。20年度の上場株式の申告所得は70万4,290円である。

陳情関係

「教育予算の拡充を求める意見書の採択要請について陳情書」については採択。

緊急雇用経済対策事業で軽トラック2台購入



林道等の維持管理を行います

Q 団地の管理はどこがするのか。

A 松山団地、馬場団地、西之原団地の一部、桜山団地の一部及び尾野見団地を教職員住宅の用に供するため建設課所管から教育委員会に移管する。

Q 条例の一部改正の内容は。

市営単独住宅条例を一部改正

A しっかりと管理を行いながら、造るときにもそれに対応した構造規格としたい。

Q 道路陥没事故を受けて今後の市道の維持管理、総合的なパトロール制は。

A 井倉飛行場地区は面積135ha、関係者467名、同意者364名。肆部合地区は面積23ha、関係者124名、同意者100名。押切地区は面積29ha、関係者221名、同意者163名。田尾地区は面積13ha、関係者118名、同意者82名である。

Q 99・88㎡、大字志布志町

A 鹿兒島県が行っている志布志港整備事業、新若浜地区における公有水面埋め立てのうち、大字志布志町安楽字汐掛296の1、296の2の地先公有水面埋立地」1万

Q 内容説明を。

新たに生じた土地の確認と字の区域変更について

A 建物と敷地については教育委員会で、団地を形成している道路、側溝、植木等は、今までどおり建設課で行う。

A 雑種地になる予定で、この面積で交付税の基準財政需要額が4万4,000円増える。

Q 地目と交付税はどうなるのか。

A 安楽汐掛296の2の地先公有水面埋立地」の2,878・40㎡について、新たに生じた土地の確認と「字汐掛」に包括させる。



新若浜地区に新たに生じた土地

市消防団員の半てんを新調

一般会計補正予算
(第2号)

国は、経済・景気対策として、地域活性化・経済対策臨時交付金事業を打ち出した。予算規模は、13兆9千億円程度で、うち志布志市には5億4129万7千円が交付される。今回の臨時交付金事業は、地球温暖化対策、少子高齢化社会への対応、安全・安心の実現、その他、の4つの柱から成り立っている。これを受けて、志布志市は、市道維持整備事業や学校情報通信技術環境整備事業など29事業を実施する。

Q 非常備消防費の刺子半てん、ヘッドライト購入事業はどんな内容か。

A 現在消防団員は、旧町時代の半てんを着用している。今回志布志市消防団として半てんを新調し、団員全員に貸与する。ヘッドライトは、各分団に配備してある車輛に4個づつ備えつける。

公用車を
ハイブリッド車に

地球温暖化対策として、市が所有する公用車のうち、13年以上経過した4台を、ハイブリッド車に更新する。

Q ハイブリッド車にするこのメリットは何か。

A 試算ではあるが、二酸化炭素の排出量を1/3程度、燃料代も1/3程度減らすことができる。

Q 今回実施する29事業のほとんどがハード事業であるが、ソフト事業は対象とならないのか。

A 対象となる。福祉で行う、わがまち子育て応

援手当支給事業」はソフト事業である。今回の景気対策事業は、3月までに完了しなければならぬということもあり、ソフト事業については、見送った経緯もある。

デジタルテレビに更新

Q デジタルテレビに更新する施設はどこか。

A 市役所本庁、支所、図書館、消防団詰所等58施設である。

Q テレビ購入の方法は。

A 地域活性化・経済危機対策の趣旨をふまえ、競争入札によって、市内の業者から購入する。



公共施設、小中学校のテレビをデジタルテレビへ

小・中学校へ地上デジタルTV配置

Q 小・中学校や幼稚園へデジタルテレビを合計で234台配置するが、購入方法はどのように考えているか。

A 購入先は市内業者である。分離一括かまだ検討していないが、国の補助事業であるので、おそらく一括購入になるのではないかと。しかし発注方法については関係課と十分協議していきたい。

Q 曾於市斎苑改修事業負担金は、改修には大きい額である。また均等割20%、人口割が80%という負担は、妥当と考えているか。

A 負担割合の均等割は、合併前の旧4町のうち松山町分であり、あとは人口割で、全体としては8分の1である。今回の改修は4つ目の大型炉をつくるために20年ぶりに実施されるもので、臨時交付金事業として緊急性も高く、近隣市町とのバランスもとれている。(次頁へ)



子育て応援手当が支給されます

子育て応援手当を支給

Q 子育て応援手当が支給される対象は。

A 「子育て応援特別手当」は、平成15年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた児童である。本市独自の「わがまち子育て応援手当」は、平成18年4月2日から平成21年10月1日までに生まれた子どもを予定している。

女性特有のがん検診受診率向上を

Q 女性特有のがん検診推進事業で、子宮頸がん、乳がんの検診対象者2

089人に対し、受診目標が870人と少ないが、がん検診受診率向上の意識の普及と啓発はどのように行うのか。

A 国のがん基本法に基づく推進計画では、受診率の目標は50%である。本市の受診率は子宮がんが10%前後、乳がんが12%から16%で推移している。それを20から30%にもっていくのが目標である。受診率が低いのは、情報が少ないのが原因と考えられる。検診対象者には国が作成したがん検診手帳を郵送して、早期発見、早期治療の啓発をしていく。

産業建設委員会

道路維持整備事業で17件を工事



大浜緑地駐車場予定地

大浜緑地に駐車場を設置

Q 道路維持費の内容は。

A 工事請負費として市道の舗装新設・修繕、側溝改修などで志布志地区9件で3,800万円、有明地区6件で3,000万円、松山地区5件で2,800万円を予定している。

Q 公園施設新設、改修事業の内容は。

A 志布志運動公園に公衆トイレ新設が1箇所、合併浄化槽への改修が町原近隣公園、大師公園、大浜緑地、志布志運動公園、中道墓園の5箇所である。また大浜緑地に、18台分の駐車場工事と鉄道記念公園のS上屋根改修工事である。

茶肥料代一部助成へ

Q 茶品質向上対策事業の肥料代の一部助成は、大規模農家に厚すぎで、一農家の補助としては巨額過ぎるが、上限を設けるなどして中・小規模農家に力を入れるべきではないか。

A 標準事業費の1/5以内を削除し補助率が中・小規模農家に手厚くなるよう上限を設け、面積区分で交付要綱を定めていきたい。

ば数年で同じになるのではないか。

A 改良区からの要望として6・2ha申請人50名で上限が1千万円である。最近良い商品も出ているので、材料も吟味しながら今の状況が改善されるようにしていきたい。

Q 種畜導入・保留事業は既存事業があつて今回更に乗せするが、合わせるといくらか。

A 肉用牛最優秀の市内産は追加が5万円で合計15万円、市外産は追加が3万円で合計10万円、優秀は追加が2万円で合計5万円。種豚(雌)が追加1万5千円で合計2万円、種豚(雄)が追加3万円で合計4万円。乳用牛は追加が3万円で合計7万円である。

Q 市営単独住宅松山地区の改修工事の内容は。

A 築10年以上の住宅を対象に30棟を外壁及び瓦の劣化防止の改修塗装を行う。

次期市長選への出馬の意向を問う



本 田 議 員

本田孝志議員 合併3年数力月の市政運営を振り返っての感想を。

市長 5つの公約に基づき振り返ると

1 番目に共生・協働・自立のための新たな補助制度も創設した。

2 番目に、大地の力と海の恵みと人のエネルギーについて思い切った行政改革を推進した。

3 番目に、農・林・畜水産業の振興・活性化に取り組んだ。また、アピア対策について、オラシ志布志をオープンした。

4 番目に、安心・安全・幸せ・健康まちづくり、ぴんぴん元気塾のサポートを養成した。乳幼児医療費の全額助成、妊婦検診料の補助を行った。

5 番目に、新若浜地区が供用開始された。これらの成果が少しずつ現われつつあると感じている。

問 次期市長選への出馬の意向はあるのか。率直な気持ちで。

次期市長選へ出馬する

市長 まだ半年以上任期を残しており、その期間全力を傾注して市政運営に取り組む。次の任期については、この経済危機を克服しながら、さらなる市民の福祉の向上を図っていくかなければならないと思う。輝く日本一のみちを実現するために次期市長選に出馬しようと考えている。

市役所本庁の位置について

問 本庁の位置問題について市民と話題にしたことがあるのか。また、本庁は現在地のままが良いと考えているのか。志布志町の市民の一番の関心事は、市役所本庁舎の位置だと思ふ。この3年数ヶ月の間多くの市民と話をする機会があり、庁舎位置の話題もでてくる。近い将来アンケート調査等をする気はないか。その結果次第では住民投票する気はないか。

市長 たとえば、住民アンケート・住民投票という形で、市役所の位置というものを考え直さなければならぬということがあれば、そのような措置を取らなければならないと思う。ただ、現段階では市民の方々からそのような意見はいただけていない。

問 本庁を志布志町市街地に移転する考えはないか。志布志の核である、旧志布志町の繁栄のために、またこれからの志布志市の繁栄のために近い将来アンケート調査と住民投票の要望があれば実施すべきだと思ふがどうか。

これから考えたい

市長 現段階で、市民の方々と直接お話をさせていただいたところでは、まだそのような状況にはいたっていない。これから考えていきたい。

固定資産税の評価見直しの経緯は

問 固定資産税の評価を見直す事業があったが、



市役所本庁舎

18年、19年、20年度見直してすぐ21年度から税金が課税されているが、その経緯はどうなっているのか。

3年ごとに見直している

市長 固定資産税の評価替えは、土地と家屋を3年ごとに見直している。

農家所得減の対策は

問 お茶や子牛価格安値に対する対策は。

市長 お茶については、堆肥・肥料等購入の支援を考えている。子牛価格は急激に下落し、昨年同月と比較して約10万円の安値である。

畜産課長 優良種畜保留導入事業の拡充を図る。

問 畜産では飼料を梱包するラップ代が高つくが、補助はできないのか。

市長 子牛価格が早く回復するためにはどういった取り組みが必要か、十分関係機関と協議する。



稲ワラのラップ作業

今こそ農業を守る手だてを



坂元 議員

坂元修一 議員 すべての農業部門において、逼迫した状況が続いている。今こそ生き残りをかけた農業施策に取り組むべきではないか。

関係機関一体となった経済支援活動を展開していく

市長 世界的景気悪化に加え、農業を取り巻く生産資材の高騰や消費低迷により、農業の経営状況は過去に例を見ないほど厳しいものと把握している。所得もこれまでになく低下しており、畜産においては既存の対応では解消できないところまできている。また、茶については2年続きの価格下落で特に厳しい状況にある。関係機関一体となった指導と、支援策が必要であると考えている。



厳しい畜産経営に支援を

問 支援策とは何か。

国、県に加えた

市単独補助事業である

市長 肥料、燃油、飼料高騰による経営圧迫の支援策としては農家緊急対策特別資金利子補給事業がある。家畜飼料特別支援資金の借入については、県の利子補給以外に、市単独で利子補給を行っており、畜産農家の負担軽減を行っている。

茶のブランド化を

問 茶については補償制度がなく、晩霜被害や過剰在庫、リーフ茶の消費低迷で経営難が続いている。県内第2位の産地としてブランド化の推進を図るべきではないか。

今後の動向を見据えながら、技術的支援を行う

市長 畑かんによる防霜については当面希望に応えられる。翌年への品質

向上と生産調整という意味からも中刈り、深刈りをお願いしてきた。市内学校等へのお茶の習慣づけや看板の設置など、振興会と共に進めていきたい。

問 資材高騰で農家は肥料を買えなくなっている。地域の特性を利用した堆肥の利用をすすめるべきではないか。

バイオマスタウン構想を助策し進めていく

市長 畜産と耕種農家をつなぐものとして、またコ

ストを下げる手段として総合的に取り組みたい。

問 国際中核港湾を利用し海外への農産物輸出促進を図るべきではないか。

定期便を利用して販路開拓をする

市長 海外へ週8便が就航しているが、ほとんど輸出はない状態である。新しい県の事業で鹿児島黒牛を出荷する運びとなっている。海外への特産品づくりと販路拡大に努めたい。



県茶市場での入札

がん対策を急げ!



小野 議員

小野広嗣議員 今年度、市町村のがん検診推進事業を支援する地方交付税が大幅に増額された。本市の今後のがん対策に取り組む姿勢を示せ。

受診率向上のために工夫を凝らしたい

市長 がんの早期発見の重要性の観点から、受診率向上のために検診期間の延長や未受診者の方の受診勧奨など、工夫を凝らして取り組みたい。

女性特有のがん検診推進事業への取り組み状況は

問 女性特有のがん検診推進事業が国の21年度補

正予算に計上され、いよいよスタートするが、それに向けての現在の準備態勢について示せ。

予算化を急ぎ9月実施に間に合わせたい

市長 現在、検診対象者

の抽出を行い、子宮頸がん882人、乳がん1,210人の対象者の把握を行った。今後は、事業に必要な無料クーポン券と、検診手帳発行に伴う予算化を急ぎ、9月実施の女性健診に間に合わせたい。

市長 現在、検診対象者



がん検診等の結果報告会

ひとり暮らしの高齢者や障がい者対策について

問 ひとり暮らしの高齢者や障がい者など、災害に弱い方々を火災被害から守る火災警報器設置の助成について、今後、周知徹底を図り広報に努めるうえで、制限を設けず給付すべきではないか。

火災警報器給付対象者への情報提供や啓発を行う

市長 火災警報器は平成20年度から給付種目として追加し、6件の申請があり、いずれも設置しているが、今後も民生委員などを通じて、必要な方への情報提供や市報などにより啓発を行いたい。

救急医療情報キットの活用は考えられないか

問 ひとり暮らしの高齢者や障がい者を対象に、薬の処方箋、保険証の写し、かかりつけ病院の情報、緊急連絡先などを円筒の容器である救急医療情報キットに入れて、冷蔵庫に保管し、救急隊員や医師が患者の情報を早

く正しく把握する事業があるが、本市でも取り組み考えはないか。

先進地の事例を検証し関係課で協議したい

市長 今後、個人の医療情報を最新のものとして保管し、緊急時の対応に備えることが必要になると思う。先進的に取り組んでいる自治体の検証を行い、本市ではどのようなものが望ましいか、関係課に協議を行わせたい。

次世代育成支援対策行動計画への取り組みは

問 平成21年度は、志布志市次世代育成支援対策行動計画の見直し期に当たるが、これまでの進捗状況と成果、後期行動計画への取り組みを示せ。

22年3月末に策定予定

市長 昨年度末から現計画の評価見直しを行い、その検証をふまえ、今回、委託契約を結ぶ計画内容の詳細について、指名競争入札を行い、契約を締結した。現在、1700世

帯にアンケート調査票を配布している。平成22年3月末策定を目的に業務を進めている。

スクールニューディール構想への取り組みは

問 スクールニューディール構想は、学校施設における耐震化とエコ化、情報化を集中的に推進しようとするものである。本市ではこの構想で示されている事業に今後、どのように取り組もうとしているのか。

学校の耐震化が第一目標

教育長 学校施設の耐震化を第一の目標に掲げ、推進している。ICT化については、各学校1台の電子黒板、リース期間満了のパソコンの入れ替えなど、最先端のICT機器の導入により、わかりやすい授業を展開し、子どもの学力、IT活用能力の向上を目指したい。

茶・肥育牛の現状認識は



金子 議員

金子光博議員 厳しい農業情勢の中でも、特に昨年からは茶、肥育牛の経営は一段と厳しいと思うが市長の認識はどうか。

厳しいと認識している

市長 茶の情勢については繰越在庫が多いことや、価格低迷の問題が深刻化している。リーフ茶の消費量も年々減少してきている。

肥育牛については素牛価格の高値、餌の価格高騰、枝肉相場の下落等々で厳しいと認識している。

今後の支援は

問 今後どのように支援育成を図っていくのか。

直接的な消費を進める

市長 茶の消費低迷、お茶離れについては全国的に茶業に関係する方々が積極的に取り組むべき課題では



あるが、庁舎内においても積極的に茶の直接的な消費を進めるように協議中である。肥育牛のマルキン事業、肉用牛肥育経営安定対策事業は関係機関に働きかけをしていく。無利子化事業は農協と協議を重ね、引き続き取り組む。生産農家の育成、生産牛の維持、増頭も積極的に支援していく。素牛の導入資金の増額については協議して可能であれば増額する。

問 行政は業種では何に当たるのか。

市長 サービス業に該当すると思う。

国に働きかけは

問 茶・肥育牛の現状は厳しいなか、国に直接働きかけをする考えはないか。

積極的に取り組む

市長 市としてできることは極めて限定されているので、国の方に積極的に働きかけをして、農家の救済については取り組んでいく。

茶・肥育牛の経営支援を

県道柿ノ木志布志線の完成見通しは

問 県道柿ノ木志布志線内の柳橋、弓場ヶ尾間の進捗よく状況と完成年度の見通しは。

平成23年度を目標

市長 平成20年度から地方道路交付金事業により市の負担金の必要がなくなった。20年度1億1千万円の追加補正が付き、現在650mの工事中であり、

21年9月完成を目指している。残り区間400mについては、用地契約完了次第工事発注の予定であり、県からはつきりした回答はないが、23年度を目標にしていることである。

問 21年度内の完成を県に強く要望する考えはないか。

市長 志布志市の最重要整備路線であり、21年度についても追加補正の要望活動をしていく。



整備中の県道柿ノ木志布志線

畜産飼料稲ワラの今後の対応は



宮城 議員

宮城義治議員 畜産の濃厚飼料等の値上げ等により、畜産農家にとっては畜産物の低迷、規模拡大等の投資の償還など非常に厳しい状況にある。現在、畜産農家の中には、離農を考えざるを得ないという声を耳にする。市長はこの現況をどのように認識し、どのように対策を考えているか。また、飼料稲ワラについてどのように取り組んでいくのか。

積極的な取り組みを

市長 農業を取り巻く環境は、非常に厳しい。ど

の畜種についてもそれぞれの農家が経営を維持するかどうか、特に高齢農家の方々は考えられている状況ではないかと思う。私自身もこの飼料稲については、本当に今後重点的に取り組むべき内容ではないかと思う。現

在年次的に、栽培面積が増えてきているということであるので、22年度にはさらに面積が拡大されるような形の推進を図るということで、水田農業推進協議会や関係機関と連携して取り組んでいるところである。



飼料稲

職員的能力開発支援を

問 従来は国が政策を指導し、結果として全国均一に整備が進められていた。それはそれとして、評価すべきであるが、今は地方の時代とが魅力あるまちづくりとか地域づくりは全国画一の政策では不可能なことは、自明の理である。地域がそれぞれに独自に課題を設定しそれに見合った政策を展開していかねければならない。自治体の政策能力の問題である。これからは、地域の政策能力、住民と職員の能力の程度によって地域間の格差が増大するといわれている。自らの能力を開発しよつとする職員に対して積極的に支援する考えはないか。

積極的に支援したい

市長 近年の地方自治体を取り巻く環境は少子高齢化社会の到来、高度情報化社会の進展、市民ニーズの多様化、市町村合併をはじめとした広域化などにより、大きく変化しつつある。平成20年4



有明町の本庁舎内

月には自己啓発休業制度を導入して職員が自発的に大学での就学や国際貢献活動に参加する機会に、申し出に応じて3年を限度に休職を認めている。今後も平成19年3月に策定している志布志市職員人材育成基本方針に基づき職員的能力開発に関し、積極的に支援したいと考えている。

国語力アップに辞書引き学習方法を



立山 議員

立山 幸議員 有明小学校で、国語力アップのため、辞書引き学習方法が積極的に実施されている。1年生から6年生全生徒が漢字辞典と国語辞典を常時机の上に置いて、国語時間はもとより、社会科等の時間にも活用し、各家庭にも2冊置いて活用している。この学習方法を市内小・中学校に取り入れるべきと思うがどうか。

教科の基礎となる国語力向上のため取り組み

教育長 今後とも辞書の積極的な活用方法を組み合わせ、すべての教科の基礎となる国語力の向上のため、学校、家庭が一体となって、子ども達の学力向上、豊かな感性を伸ばすために、各学校を指導する。



辞書引き学習の様子（有明小）

野神岩屋集落から山重芝用集落までの県道改良工事を急げ

問 野神岩屋集落で県道改良工事がストップしている。早急に着工するように県に強く要請すべきと考えるがどうか。

用地の確保が困難なためストップ

市長 あと約1,800mのうち、用地確保が困難なため、19年度から工事がストップしている。岩屋集落付近については

解決し、インフラテック工場付近が未解決である。用地交渉と早期の工事再開を目指して努力する。

問 県道宮ヶ原大崎線の山重集落内が工事中止になっている。県はどのような対策を講じようとしているのか。

市長 用地取得が困難で中止になっている。県は用地が解決しない限り工事はしない方針である。用地解決に努力する。

問 国道269号平野集落から曲集落までの、局部改良や、側溝にふたをかぶせるように県に文書で要望すべきではないか。

市長 安心、安全な道路整備について、県に強く要望する。



県道志布志有明線の子ヶ丘集落付近

市長 5月1日新型コロナウイルス感染症協議会を設置し、5月25日に警戒本部に名称変更している。市民には、防災無線、有線、広報、ホームページ等で情報提供している。

問 防護服セット等の購入や着用方法などの訓練を実施したか。

市長 感染防止用マスク100枚を購入、防護服については、100セット発注済みである。訓練については、入荷後実施したい。

問 さんふらわあ利用での、修学旅行、団体客、一般客で、キャンセルはなかったか。

市長 1高等学校で、大阪東京コースを東京コースに変更され利用されなかった。他の団体客についてはなかった。一般客については、キャンセルが若干あった。

新型コロナウイルスの緊急対策は

問 新型コロナウイルスの感染者が、わが国でも確認された。市はどのような緊急対策を講じたか。

ひとり金婚式の再開を



岩根 議員

岩根賢二議員 ひとり金婚式は平成19年度以降実施されていない。ひとり金婚式は戦争で配偶者を亡くされた方々の労苦をねぎらうという趣旨で始まったことだが、戦争に限らず連れあいを亡くされた方々にはそれぞれ苦労があったと思われる。終戦から六十数年が経過したのでひとり金婚式の役目は終わったということではなく、行政として「本当にご苦労さまでした」という心からのねぎらいの気持ちを込めてひとり金婚式を再開する考えはないか。

参加希望多ければ実施

市長 ひとり金婚式は平成18年度に実施したが参加者が少なく、19年度からは実施していないところである。現在のところ対象者についてアンケートや調査も行っていないので、参加希望等の調査を実施してから考えたい。多数の方が参加したいということであれば実施しても良いと考える。

敬老祝金の支給方法の見直しを

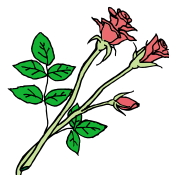
問 平成19年度から敬老祝金は節目支給となった。他市町村でも節目支給自体は特別なものではないが、支給方法には少し違いがある。その年度内に節目の年齢に達する方には敬老の日以降でも支給したり、特に満百歳の方には誕生日に支給し

ている例が多い。本市では基準日の9月1日の翌日が誕生日の人は、あと丸々1年待たなければならぬことになっている。敬老の精神か

らも、節目が満年齢の人には誕生日に、数え年の人には年度初めに支給するなど、対象者により一層喜んでもらえる方法に改める考えはないか。



敬老の気持ちのこもった祝金を



年齢に配慮して支給したい

市長 現在は年齢判定の基準日である9月1日から敬老の日までに対象者に支給している。同級生や同じ生まれ年でも支給される人とされない人がいるのではという問い合わせもあつたところである。基準日の考え方として暦の1月1日、年度基準の4月1日、敬老の日を基準とする9月1日等が考えられるが、今後支給対象者の年齢に配慮しながら、敬老祝金の趣旨を損なわない形で支給する方法で取り組みたい。

地域高規格道路の整備は



木藤 議員

地元業者優先で
市長 県の関係者に機会あるごとに、地域密着型ということで、特殊工事を除く一般土木工事については、地元業者を優先するよう要望している。



整備進む地域高規格道路 有明IC～志布志IC間

木藤茂弘議員 現在、地域高規格道路の整備が進んでいる。地元の景気回復のためにも、地元業者の参入が大事だと思つが、市長としては、県に対してどのような取り組みを考えているか。

基礎学力定着度調査の結果把握は

問 校長・教職員は、今回実施された基礎学力定着度調査の結果について、把握しているのか。

実態については把握できていると思う

学校教育課長 県の基礎学力定着度調査の結果は学校の方に届いているので、各教科の担当・担任は子どもの実態については把握できていると思う。

学校の持つ教育力について

問 学校の持つ教育力を的確に把握することが大事である。第一に、教職員の持つ教育力の資質向上の研修機会はどうなっているか。第二に、パソコンは十分に教育機材として活用されているのか。第三に、学ぶ意欲を持って粘り強く努力を続ける子どもをどういうふうに育てるのか。学校として日常の取り組みはどうか。

研究テーマの設定研修実践や家庭における「60・90運動」を展開している
教育長 各学校においては、研究テーマを設定して年間を通した研修実践

を行っている。課題に基づき具体的にどのような指導を行うか学校内で検討をしあうことにより、子ども達の学力向上につながっていくのではないかと理解している。また、家庭において、小学生は60分、中学生は90分の家庭学習（60・90運動）を推進しながら家庭での学習時間の確保をお願いしている。子ども達が互いに切磋琢磨しながら、互いを認め合い、学び合い、子ども達の学習意欲、先生方のやる気・情熱が加わることで本市

の教育の向上を期待しているところである。
学校教育課長 教職員の研修については指導主事等も参加して資質の向上を図るために、研修は日常的に行っている。パソコンの利用については、一学期、二学期についてはかなり利用されているが、残念ながら三学期は落ちるとい傾向がここ三年間続いているので、三学期の利用率が上がるような指導を今後も続けていきたいと考えている。



ICTを使った授業の様子

二期目の評価と人口増対策は



八久保 議員

八久保 議員 6月議会で次期市長選への出馬を表明されたがこれまでを振り返り自己評価を。

また、志布志市誕生の要因の一つは、人口増対策でもあるが依然として人口減少・過疎化も進んでいる。人口増対策は、志布志市の維持と発展を担う将来へ向けた重要課題である。さらなる対応策を示せ。

評価は市民の判断に人口増対策は公約として示す

市長 初代市長として旧3町のエネルギーの一体化で「やすらぎとにぎわい

が協奏するまち」を目指して全力投球してきた。また5つの項目を立ててその実現に誠意取り組んだ。評価については、市民の皆様の判断に任せたい。人口増対策は、子育て

日本一のまち」という大きな目標を掲げて取り組み、その成果も少しずつ現われてきている。将来へ向けた今後の取り組みは、改めて公約として、子育て支援や応援などの事業に誠意取り組む。



子育て支援センターはぐみランド

安全で安心な防災対策は万全か

問 市内には大きな3河川がある。前川と安楽川の山間部は過疎化が進み自然形態が変化している。現状を把握し、災害対策に活用すべきではないか。

国や県に対策を要望する

市長 特に前川に砂の堆積が見られる。災害については常々怠りない体制を取っているが、形態災害にならないためにも国や県に要望もしている。安楽川河口については、形態の変化を検証してもらおうよう要望していきたい。

防災対策は地域との連携で

問 防災で欠かせないことは、自主防災と行政の



安楽川河口の現状

連携である。

災害対策で重要な事は地域の形態変化の把握である。その結果を今後の防災にどう活かすかで、安全で安心できる地域づくりが担える。地域のことはその住民の方々が詳しい。地域と連携し協働した、現状把握と検証が、地域防災や防犯意識の向上にもつながる。また、自主活動への支援策とその取り組みを示せ。

自主防災組織の育成とバックアップにも取り組む

市長 自主防災組織の必要性や役割を住民の方々に理解していただき、役割分担や話し合い活動につなげるため、消防団や消防組合と連携し、防災訓練や研修会等、組織活動の育成を図りバックアップにも取り組んでいきたい。

緊急対策事業の取組みは



長岡 議員

長岡耕二議員 緊急商業資金利子補給金交付事業について、対象事業所はどのくらいあるか。

幹旋件数220件で
利子補給対象額
約1,200万円

市長 志布志市商工会に加入している商工業者が、制度資金を商工会を通して利用した融資のうち、一年間に支払った融資利率1%の利子を交付するもので、幹旋件数220件、利子補給対象額約1,200万円となる。

商工会を通じた資金のみ適用される理由は

問 この事業が商工会を通して資金のみ適用される理由は何か。また、商工会を通さずに資金利用した事業所に対して利子補給は考えられないか。



昭和通りにできたルネサンス広場

商工会より要望があり組織強化に繋がるため

市長 志布志市商工会より平成20年11月に利子補給の要望があり、商工業者が商工会を利用することで組織の強化に繋がること。全ての資金を対象にした場合、財源確保が厳しいことから商工会を通して資金のみ対象とした。

農業振興について

問 国の平成21年度補正予算でさまざまな経済危機対策が打ち出されているが、市民への周知はどうか考えるか。

市民への周知には万全を期したい

市長 総合的には担い手育成総合支援協議会や水田農業推進協議会、市技

連会等の関係機関や事業窓口等と連携しながら、市民への周知を図る。市民の希望する補助事業が十分活用されるよう万全を期したい。

問 志布志市独自の緊急対策は考えられないか。

市長 地域活性化経済危機対策臨時交付金を活用して市独自にできるような県との協議に向け準備している。内容としては、茶の品質向上、生産コスト低減対策、畑かん営農の推進、畜産農家の再生産意欲を高める措置など講じたい。

畜産生産基盤施設整備事業の拡大、見直しを

問 畜産生産基盤施設整備事業を、小規模農家から大規模農家まで対応できるような事業費の拡大、見直しはできないか。

新たに牛舎改修事業を発足

市長 事業の中に新たに牛舎改修事業を発足させ

ることに伴い、財源確保のため既存事業の補助額を一部削減した。全体的予算編成上の取組みの一端なので理解してほしい。

道路問題について

問 林道境屋柳井谷線の市道格上げは考えられないか。

また、JAおお鹿児島立花迫支所跡地内の、地域住民が生活安全道路として利用している土地について、市で買い上げ管理できないか。

買い上げは困難

市長 林道境屋柳井谷線は道路規格やよう配等から見て市道格上げの考えはない。

JAおお鹿児島立花迫支所跡地は道路としての位置付けがないため、買い上げは困難と考えるが、公売の推移を見守りたい。

国保税条例の見直しを



小園 議員

小園義行議員 国保税

は条例で国民健康保険の被保険者である世帯主に課税する。第2項で世帯主が社会保険や共済組合の加入者であっても、その世帯に国保の被保険者がいれば、その世帯主に課税すると、うたっている。第2項になる届け出がされる時の窓口対応はともども大事である。各課の連携は十分にとられているか。

十分に説明している

市長 転入等で窓口に来られた際には、世帯主が社会保険等の場合で、転入される方が国保の場合、第2項の擬制世帯となる。その時は擬制世帯の制度について説明し、世帯主の同意を得ている。また、得られていない場合は同意を得るようお願いをしている。国保係でも

合、第2項の擬制世帯となる。その時は擬制世帯の制度について説明し、世帯主の同意を得ている。また、得られていない場合は同意を得るようお願いをしている。国保係でも

は、その世帯主に国保税の納税義務があることを説明し、税務課では課税の時期、課税客体付加及び納税等の説明をしている。



国民健康保険係の窓口

市長が当人だったらどうか

問 住所は同じだが、別々に住んでいる擬制世帯の滞納が発生したケースがあり、世帯主から相談があった。こうした状況を市長が当人だったらどうか。

当然、当人が払うべき

市長 その様なケースについては当然国保の加入者が払うべき義務が生じると思う。

どれくらいあるのか

問 本市の擬制世帯の数はどれくらいあるのか。

20年度1,042件である

市長 20年度、擬制世帯になつた届け出数は10

42件である。105件が社会保険等の擬制世帯で、残りは後期高齢者医療保険の世帯である。

対策をどうする

問 擬制世帯で滞納等の問題が発生した時に、国保税条例で税の減免措置等をつたっている。住民への理解を求めながら、あつれきを生まないように対策をとるべきではないか。

他の団体等を調査させて欲しい

市長 国保のケースがどういったものになるのかまた、他の団体ではそういった措置を取っているのか、関係機関等の措置についてどうなっているのか調査させてほしい。

擬制世帯主…世帯主が国民健康保険者(加入者)でない場合でも、その世帯に国民健康保険の被保険者である世帯員がいるときはその世帯の世帯主は国民健康保険における世帯主とみなされる。

臨時職員の待遇改善を

問 市役所で働く嘱託職員をはじめ臨時職員に対して、昨年の人事院勧告が求めた通勤手当の支給等勧告に基づいて対応をする考えはないか。

総体的に取り組む努力をしていく

市長 来年度に向けて通勤手当相当分の費用弁償、支給も含めて臨時非常勤職員の待遇改善について総体的に取り組む努力をしていく。

志布志駅を市民のアイデアで



鶴迫 議員

鶴迫京子議員 志布志駅に総合観光案内所（予算957万5,000円）で案内所が設置されるが、この計画に加えて全国の事例から、ペットブームで「猫の駅長」とか、歴史ブームで本市ゆかりの「玉依姫」とか市民にアイデアを募り、観光の目玉にする考えはないか。

市民こそって参加し
協議してつくる

市長 ペットをシンボルにするのは手っ取り早い
が、なぜ志布志なのか整理されないと説明できない。「玉依姫」は整理できるのでシンボルのテーマにはなる。市には貴重で豊富な観光資源、素材があり市のシンボルをまだ定めていない。今後、各界各層の方々の提言を受けて、何にするか市民こそって協議し、何年かかけてつくりあげたい。



8月8日 志布志駅に開所した総合観光案内所

猫のふん害などの現状は

10月に施行される「ポイ捨て防止条例」にない猫のふん害などについての現状認識はどうか。

職員が出向き対応

市長 猫のふんなどの苦情は年間で数件ある。トランプルなどは双方で話し合い、必要があれば、職員が現場に出向き対応し

ている。

路上の動物死骸の取り扱いは

問 環境衛生、子どもの教育、交通安全、治安面などから、

路上や空地に放置されている猫や犬、イタチ、タヌキなど動物の死骸の対応や処理方法は、年間の件数は、今後の改善策は、

野生動物は一般ごみの取り扱い

市長 路上の動物の死骸の処理は道路管理者（国道は国道事務所、県道は土木事務所、市道は市）が行うが電話などで市に直接、通報があるので平日は環境パトロールや市職員で対応。土曜日や日曜日、休日はシルバークリスタルセンターに委託。処理件数は平成20年で178件。（猫143匹、犬3頭、その他32匹）

今後は不幸な動物が増えないように、飼い主への管理の徹底を広報紙などを通じて啓発していきたい。私は養豚業をした経験上、動物の生死は日常的にあると考えるので道路で死骸があると車に積んで市役所に持ってきている。野生とペットの取り扱いは別。ペットは飼い主の責任で野生の猫、犬、イタチ、タヌキなどは一般ごみの取り扱いになる。できるだけ市民の方々に処理するよう協力をお願いしたい。

地域猫制度の導入を

問 平成21年度から佐賀市や鹿児島市上之園町内会など、野良猫を減らし、ふん害などの苦情への対応のため「地域猫制度」をはじめた。本市でも猫の適正飼育と動物愛護の観点から導入する考えはないか。

制度の推進はすぐには難しい

市長 動物に対する好き嫌いやアレルギー体質もあり、制度の推進はすぐには難しい。飼い主などの適正飼育とマナー向上について意識啓発を図ると共に、動物愛護の意識を根付かせ、誰もがわかりあい、助けあえる地域社会の建設に努めていきたい。

入札契約制限のあり方はどうか



下平 議員

問 開札日の入札者への通知の時間設定をしていないが設定すべきではないか。

市長 開札日の翌日の9時から11時までの間に落札業者へ通知するよう改善する。

早めの事業執行を

下平晴行議員 100年に一度といわれる大変厳しい経済情勢の中で、国土交通省は最低制限価格制度等の活用について、建設業等が地域の雇用を確保し地域産業の中核として持続的に発展することができるよう要請している。しかし、市は最低制限価格制度等の運用をしていないが導入する考えはないか。

問 工事の執行状況が6月15日現在で単独事業32%、補助事業は0%である。年度末に事業が集中しないように、単独事業は9月までに終わり、補助事業をできるだけ早めに事業執行すべきではないか。

年度末は避ける

市長 年度末に集中して発注することは絶対避けるように職員に指示している。

市長 ダンピング防止品質確保などの観点から制度改革としての最低制限価格、または低入札価格調査制度などの実施効果のある制度導入の検討をしている。

県のランクに準じては

問 土木建築同様に水道施設、造園、舗装を県の入札参加格付けに準じて対応したらどうか。

取り組んでいる

市長 県のランクに準じて市の土木一式の格付けという形で取り組んでいる。

問 入札書の郵送を二括できないか。

市長 一入札書が原則であるが、直接持参について検討する。

市内業者の利活用は

問 物品購入の取り扱いには市内の業者を公平に利活用しているか。

市長 市外の業者が利用されていることについてはどうか。

原則市内で対応

市長 課のほうで任意にできるので、極力専門店、小売店を活用するように意見統一して執行していく。また、市外業者については、原則市内で対応できるものについては原則市内で対応する。

遊具施設の管理について

問 施設の管理が徹底されていないために全国的に事故が多発しているが、本市は管理が徹底されているか。

市長 都市公園施設及び



鉄道記念公園の遊具

公営住宅地の点検は、専門業者に年2回の点検を委託している。

教育長 学校ではおおむね月1回の割合で遊具の点検を実施している。

市民の生命財産を守るために、人権講演会を開催してはどうか

問 全国で冤罪事件が相次いでいる。志布志事件はその中でも極めて異常といえる事件である。行政は市民の生命財産を守る義務がある。被害者の方々が大変な思いをされた体験談を職員が聞いて、市民に情報提供して、市民をあらゆる角度から守っていくことができる人権講演会（体験談）を開催する考えはないか。

協議したい

市長 職員を対象にした人権教育講演会中に入れ込むことができるか、スケジュールに講師等も入っているので協議したい。

最近気になる2つの「手紙」という歌があります。ひとつはアンジェラ・アキさんの作詞・作曲による合唱曲です。この歌は、15歳の男子が大人になった自分へ書いた手紙と、大人の自分から今の15歳の僕へ宛てた手紙の2部構成になっており、

中学生たちに、不安に負けず、ありのままの自分から自分を信じて歩いていくというメッセージになっています。

もう一つの「手紙」は樋口一さんが歌っているもので、認知症になつた親から子どもに宛てた手紙です。「年老いた私がある日今までの私と違っていたとしても、どうかそのままの私のことを理解してほしい・・・(中略)あなたの始まりに私がしつかりと付き添つたように、私の終

議員控室

「手紙」

岩根 賢二



わりに少しだけ付き添ってほしい……」と子どもへの想いを綴つた内容になっています。そういえば、最近、電話やメールの便利さに負けて「手紙」を書くことが少なくなつてきています。

メールも文字で伝えるのですが、メールと手紙では気持ちの通じ方が違うような気がします。メールは機械で作られた文字であるのに対して、手紙は自分の手で書く文字という違いでしょうか。文字どおり相手を想いながら、手書きの文字で心を伝える「手紙」のよさを今一度見直したいものです。



4市議会

交流会を開催

5月23日、大浜緑地公園で鹿屋市、垂水市、曾於市、志布志市の4市議会議員による交流会が開催されました。

グラウンドゴルフでは、4市の議員が混成された組で回り、互いの珍・好プレーに湧き、親睦が図られました。その後、意見交換会も行われました。



どうぞ傍聴席へ

次回定例会は9月です

編集後記

下平 晴行



小中学生に携帯電話は本当に必要なか。石川県で条例改正が可決された。防災、防犯など特別な目的がある場合を除き、小中学生に携帯電話を持たせないよう保護者に協力義務を課す全国初の条例である。さらに18歳未満であるにもかかわらず、有害サイトへの接続制限(フィルタリング)サービスを利用しない場合は、保護者が理由を書いた書面を携帯会社に出すことも求めている。青少年の健全な成長をうたつた有害サイト規制法の趣旨にも沿うものだろう。携帯電話のネット掲示板への書き込みは、いじめや自殺の原因にもなっている。

利用時間の長さや時間帯についてルールを設けず、子供の自由にさせている家庭が多いからではないか。基本は、やはり家庭の躰であると思う。小中学生に携帯電話を持たせないと宣言した自治体もある。本市でもそのようなところから取り組むべきではないだろうか。

広報等調査特別委員会

- | | | | |
|------|-------|-------|----|
| 委員長 | 岩根 賢二 | 迫田 | 正弘 |
| 副委員長 | 西江園 明 | 立平 | 利男 |
| | 下平 晴行 | 小野 広嗣 | |
| | 鶴迫 京子 | 宮田慶一郎 | |
| | 藤後 昇一 | | |

発行責任者

志布志市議会議長 谷口 松生